

あえて

声を大にして言わせていただきます。

あなたが好き！なこと 今からでも始められます。



50代・60代・70代世代の

人生は意外と長い
好きなことを学び
仲間と議論を重ね
生活を豊かにする



ボランティア

市民活動

イベント



あなたを待ってる！今から始まる活動が見つかるかも！

『生涯現役フォーラム』 総合福祉会館 5階ホール
(汐入駅から徒歩6分)

11月26日 **土** 10:00 ~ 15:30

冊子



好んで選んで初参加・初体験！ ちょっとのぞいてみるもよし

『ひくてあまた月間・イベント情報』

のたろと秋

詳しくは次のページへ

(((すかっこの市民活動情報)))



イベント 『生涯現役フォーラム』

生きがいがづくり、健康づくりをテーマにした講演会やセミナーなど、シニア世代が生き生きと暮らすための情報が満載のイベントです。実際に活動している市民活動団体の紹介や体験ができる展示会も行われます。

開催 11月26日（土曜日）10:00～15:30

会場 横須賀市立 総合福祉会館 5階ホール（京急線 汐入駅から徒歩6分）

勇気がわいてくる楽しい講演

生きがいがづくり講演会

13:30～15:00

講師 小山昌孝さん



◆ 幸せなセカンドライフをいかに送るか

～人生百年時代を見据えて、生き方を考えるメソッド

人生100年時代と云われています。これから始まる長い老後生活をどうか幸せなものにしたい。ところが、実用書をあさっても、その場しのぎでちっとも心に響かない。自分らしい自分って？ 幸せってなに？ 自分の人生って何のためにある？

1951年兵庫県生まれ
大阪産業大学工学部卒業
元デジタルハリウッド大学院特任教授
認定NPO法人プラチナ・ギルドの会理事
著書『わくらば』（幻冬舎2021年）



市民活動団体による

活動紹介の展示・体験教室

さまざまな分野の市民活動団体のブースを出展。活動について、具体的な話も直接聞くことができます。

- 終活・相続のための小冊子やエンディングノートの展示販売
- アンチエイジング体操
- 健康づくりのウォーキングでロコモと認知症予防
- こども食堂など地域食堂の紹介
- リサイクル材で作ったいろいろなおもちゃ
- 情報化支援パソコン利用のボランティア活動の紹介

食べてみて！美味しいです

作業所販売ブース



横須賀市内の障がい者地域作業所・地域活動支援センターによる手づくり品の販売と活動PRをおこないます。

★ 冊子 『ひくてあまた月間・イベント情報』



自然環境保全、情報化支援、多岐にわたるあらゆる分野の市民活動。横須賀市内、または近郊で11月・12月におこなわれる最新のイベント情報をまとめた冊子です。

入手方法

市民活動サポートセンター（通称サポセン）または市役所や行政センターなどの公共施設に置いてあります。

問合せ 横須賀市立市民活動サポートセンター 電話番号 046-828-3130

開館時間：午前9時～午後10時 休館日：年末年始（12月29日～1月3日）





～市民活動を支える人たち～

横須賀猫部 代表 平賀 加代子さん

キャラクターがかわいい、横須賀猫部の代表、平賀加代子さんにお話を伺った。高度成長期の終わり近く、神奈川県に生まれる。三人兄弟の末っ子で、子どものころから自由奔放に育った。兄弟が多いので、自分で何でもやらなくちゃいけないから、絵でも裁縫でも見よう見まねで、自然とできるようになった。おおらかなタイプで、放課後は友だちの悩みを聞くことが多かった。中学生の頃には、近所に住んでいた5人の姪を、おむつ替えしたり世話をしていた。

経済的な理由から高校へは行かないつもりだったが、中学3年のとき、姉から「高校行かせてあげるよ。学費は出すから」と言われた。あわてて初めて教科書を開いて勉強したら、テストでとてもよい点数を取ってしまい、職員室に呼びだされ、カンニングだ！と言われた。

そこで「どんな問題でも100%解けるから出してください」と申し出て、出された問題を全て解いてみせた。「内申点があるので公立は行ける高校がない。私立ならどうにか行ける」と言われ、姉に相談、私立の高校に進学した。

高校を卒業して就職、1年経ったところで、金融機関の中途採用試験を受けた。大勢の受験者がいたが、「十人くらいの試験官を前に、他の人は、喋れなくなっていたけれど、私は、ぱっぱぱぱと喋れた」成績証明書がよかったのか、口がうまかったのか、採用が決まった。

仕事では、窓口や、外回りの営業を経験した。お年寄りに人気で、お茶飲んで行けと言われ、なかなか帰れなかったこともあった。窓口では、パンフレットを見せて「こういうものが、お薦めなんです」とやっていた。今でも「猫がお薦めなんです」と体に染みついている。ひとり暮らしも経験した。朝、家を出て勤務、定時に退勤し実家で食事と大好きな猫の世話、帰宅の毎日だった。

結婚・出産を機に退職。横須賀市での暮らしが始まる。子どもの成長につれて、PTAやボランティア活動を経験した。空白を感じる暇はなかった。子どもが自立したら仕事復帰するつもりだったが、その頃病気を患っていたので、叶わなかった。

子どもが生まれた2000年頃から、独学でホームページの作成もしたけれど、当時のインターネット回線では、思い通りにはならなかった。2009年頃新しいパソコンを買い、新しいWeb技術を使って、攻略サイトやネットでのコミュニ

ティーをはじめた。意図したわけではないが、ネット上で攻略サイトのファンの子どもたちから相談を受けることもたくさんあった。「学校に行きたくない」という相談に「無理して行くことはない、命が大事」と答えていた。



2016年、猫を飼えることになる。「猫」で検索すると地域猫のことが出てくる。ネットが得意なことを活かして保護団体さんの助けになることはないかな？と思った。保土ヶ谷の猫のセミナーに申し込んだ縁で、横浜の団体のお手伝いをするようになった。2017年、横須賀でも活動しようと思い横須賀猫部を立ち上げた。当初保護猫の活動をするつもりで軽バンも買ったが、部員は集まらず、保護した猫がかわいくなって自分で飼ってしまう。向いていないと方針転換。地域猫の広報を軸にした活動をはじめた。2018年夏にサポセンに登録。2019年2月のたろんフェアに参加して、本格的な活動になった。以来、猫フェスを開催したり、地域猫の冊子を発行するなどの活動を続けている。2021年10月、愛猫のぼてたが亡くなった。亡くなるまで毎日、ご飯を食べさせ薬を投与、点滴、の介護をしていた。心が空っぽになってしまった・・・病気をしながらの子育てが大変だったことを思い出し、翌年4月から、子ども食堂の「横須賀なかま食堂」をはじめた。キャラクターには、愛猫のむぎ、そして、ぼてたを生かしている。

平賀さんは、学生ボランティアが来たときに必ず「わたしたちの活動は、世代を超えた活動。今、横須賀地域で社会貢献活動をしている人が高齢化していて、若い世代に活動をつなげたいと思っている。みなさんは、次の世代になう方たち。ただ手伝うだけでなく、その運営にも興味をもって一緒にやりたいと思っています」と話す。そして、学生さんが、将来の自分のやりたいこと、仕事につなげてもらえたら嬉しい。

キャラクターづくりから営業まで何でもプロ並みにこなす平賀さん。地域や世代の分断が進む時代に、新しい波が生まれる予感がした。

(はこぎき)

団体紹介

横須賀猫部

「横須賀猫部」で検索!!

 <https://yokosukanekobu.amebaownd.com>

- ①地域猫啓発 ②災害時のペット同行避難 ③子ども食堂【横須賀なかま食堂】の開催

横須賀猫部が運営する子ども食堂【横須賀なかま食堂】では、子どもだけに限らず誰でも利用できる取り組みをおこなっています。地域全体で子育てをする横須賀を目指す為、多くの方に子どもたちの現状を知ってもらう事が何より重要だと考え、ひらかれた食堂を目指しています。





沼ちゃん！今日はお願いがございます！
サポセンの入り口にあるチラシラックに、のたろんもチラシを置かせていただきたいのです！なにとぞ！



あー……。えっとね。置いておくチラシはサポセンで記録用に2枚もらうことになっているの。だから3枚だと、チラシラックには1枚しか置けなくなっちゃう。



あら、そうなのね、良いわよ。お預かりします。



ガーン。
たくさんの人にそうめん祭りをお伝えしたいのに……。じゃあ、のたろん頑張って手書きで200枚書いてくるよー。



えっ？ 難しい申込用紙を書くとか、ぬまちゃんの面接に合格しないと置けないとか、大変な審査があるんじゃないの？



チラシラックに200枚も入らないから。多すぎて、余らせちゃってもったいないかも。



ないない。内容次第で置けないものもあるけど、大体のものはすぐ置けるのよ。



もー！ぬまちゃんわがままー！反抗期なのー？思春期なのー？だったら何枚がいいのさー。



えっと、じゃあ、この「のたろん夏のそうめん祭り」のチラシを置いてください。手書きで3枚作りました。



そうね、一度における量や持って行ってもらえる数を考えて、20枚くらいがちょうどいいんじゃないかな。



あと17枚かー！今、手書きで作るから待ってて！



あ、うん。サポセンではコピーも使えるから必要なら言ってね……。

最近涼しい日も増えてまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。甘党です。
突然ですが皆さん、錦鯉の世界最高齢って何歳かご存知ですか？
「環境が良ければ50年くらいは生きられる」というお話は以前したかもしれませんが、実際にはもっと長生きする子もいるようです。御年（おんとし）、なんと226歳。岐阜県で飼育されて「花子」と名付けられたこの錦鯉の年齢はその真偽について諸説あるものの、ギネスブックに登録され、その記録は更新されていないそうです。
それにしてもこちらの花子さん、推定で1751年生まれということになるそうなんですけど、そもそもどうやって錦鯉の年齢って測定しているんですかね……
実は、錦鯉に限らず魚の年齢は鱗で確認することができます。魚の鱗には1枚1枚「輪紋」と呼ばれる模様があって、その線の数に魚の年齢を示しているとのこと。樹木の年輪をイメージするとわかりやすいでしょうか。花子さんも鱗の輪紋から何年に生まれたのかを測定したようです。錦鯉の鱗ってかなり小さいので、輪紋を観察するのはきつと大変だったでしょうね……汗
ちなみに、魚の年齢は鱗の他に「耳石」や「背骨」からも測定できるそうです。ご興味のある方は今度スーパーや魚屋さんで魚を買ったときにぜひ観察してみてくださいませ。専門家の方によると、タイの鱗は大きくて輪紋の観察にオススメらしいですよ。
花子さんのことは江戸時代から飼い主さんが7代にわたって大切に育ててこられたようです。同じ池には他にも100歳を超える錦鯉が複数いたそうなので、池の作り方にも何か秘訣があるのかもしれないですね。
実に興味深い……甘党が庭に池を掘るとき参考にしよおっと。
(小串彦彦)

ウロコの模様でわかるもの

甘党錦鯉

第15回



***** サポセンtopics トピックス

心地よいすべりが復活！

サポセンの会議用テーブル



サポセンの会議用テーブルは全部で30台あります。足にキャスターがついているので、どんな会議も自由自在にセッティング！といたいところですが、サポセン創業から20年余、大事にコロコロされ続けたキャスター部分も数年前から経年劣化のため動かすたびに「メキメキバリバリ」とはがれ崩壊。ついには可動しなくなってしまうテーブルが相次ぎ、「これはもう限界だ」と、まずは16台分のキャスター部品を新しく購入して付け替えました。これがすごい！思った以上の心地よいすべりです。生まれ変わったテーブルで、みなさんどしどし会議してください。お待ちしております。

サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。通常9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。



サポートセンターのホームページ「のたろんWeb」は

「のたろん」で検索♪

のたろん

検索

情報誌「のたろん」秋号（通巻92号）

2022年10月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町3-27（京浜急行汐入駅徒歩1分）

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

